

2026 **CROSS OVER REV!** TAKASU.66 CHAMPIONSHIP

開催要項

1 目的

軽自動車愛好家達のメカニカル、およびドライビングの技術向上、情報交換ならびに参加者相互の親睦を深め、全ての参加者が楽しく走行することを目的とする。

2 名称・種目

「TAKASU.66 CHAMPIONSHIP (タカス コンマ ロクロク チャンピオンシップ)」日本国内で生産販売された軽自動車による耐久走行会を行ないます。

3 主催・運営

タカスサーキットが行い、運営組織、役員は各実施要項によります。

4 開催場所

TAKASU CIRCUIT (〒910-3372 福井県福井市西二ツ屋町 2-1-35)

5 内容

- 1) 各種規則(車両規則・走行規則、実施要項、公式通知)に基づく規定周回数、もしくは規定時間内での周回数の走行順位を競います。
- 2) 各走行会の順位成績に基づいたチームに与えられるシリーズポイントの年間合計ポイント(シリーズポイントの詳細は「19 シリーズポイント」を参照)によるシリーズチャンピオンチームを決定します。

6 開催日 - 2026 暫定スケジュール -

練習会	おもいっきり走行会 vol.1	3月22日 (日)	練習走行
練習会	おもいっきり走行会 vol.2	4月4日 (土)	練習走行・公式車検
第1戦	200 マイル 耐久	4月5日 (日)	公式車検・練習走行・公式予選・決勝レース
練習会	おもいっきり走行会 vol.3	6月13日 (土)	練習走行・公式車検
第2戦	4時間耐久	6月14日 (日)	公式車検・練習走行・公式予選・決勝レース
練習会	おもいっきり走行会 vol.4	8月9日 (日)	練習走行
練習会	おもいっきり走行会 vol.5	9月5日 (土)	練習走行・公式車検・8耐公式予選
第3戦	8時間 耐久	9月6日 (日)	公式車検・耐久決勝レース
練習会	おもいっきり走行会 vol.6	11月28日 (土)	練習走行・公式車検
最終戦	3時間 耐久	11月29日 (日)	公式車検・練習走行・公式予選・決勝レース

注) 軽自動車おもいっきり走行会では必ず初心者講習会が開催されます。

- 午前:座学 午後:フリー走行(走行レクチャーあり)
- 詳細は各走行会前にお知らせします。

7 参加できるドライバーの資格と人数

- 1) 参加車両を運転することができる日本国に有効な普通運転免許証を所持している 18 歳以上とします。
- 2) 1 チーム 2 名以上とし、同一走行会に他のチームとの重複エントリーはできません。
また、第 3 戦の 8 時間耐久については、1 チーム 3 名以上とします。
- 3) 参加するドライバーには、保険に加入できる「タカスサーキットライセンス」の取得を推奨します。
- 4) 参加者が、大学生と 20 歳未満の場合は「タカスサーキットライセンス」の取得と、60 分以上のサーキット走行経験あることを必須条件とします。

8 参加できる車両とクラス

- 1) 参加車両は、耐久スポーツ走行に耐えうる整備された軽四輪自動車とします。
- 2) クラス区分は次の通りとします。

TC-1	新・旧規格：過給機有 改造クラス
TC-2	新・旧規格：過給機無 改造クラス
TC-5	新規格：過給機無 改造制限クラス（アルト HA36／キャロル HB36 クラス）
TC-6	新規格：過給機無 改造制限クラス（TC-5、TC-7 クラス該当車両を除く）
TC-7	新規格：過給機無 改造制限クラス（アルト HA23／キャロル HB23 クラス）
TC-N	新規格：ナンバー付き 無改造クラス

- 3) 各クラスの車両改造範囲については、別紙「車両規則」の通りとします。
なお、登録ナンバー付車両の場合、国の定める保安基準を完全にクリアしてはなりません。
- 4) 保安基準をクリアしているが、公道を走行するには車高や外観がふさわしくないとされる車両には主催者より積載車で移動を義務付けられる場合があります。

9 募集台数

- 1) エントリーはチームエントリーとし、募集台数は 17×2 で合計 34 台とします。
- 2) エントリーの受付は、年間エントリーチームと 2026 年のシリーズポイントを与えられたチームが優先となり（第 1 戦は年間エントリーチームのみ優先）その他は受付順で受理します。
- 3) 第 3 戦 8 時間耐久のエントリー希望者チームで、過去に「TAKASU. 66CHAMPIONSHIP」シリーズ参戦経験が無いチームは、「2026TAKASU. 66CHAMPIONSHIP」第 1 戦あるいは第 2 戦のどちらかの決勝レースに参加していなければ、エントリーを受理できません。

10 参加申込

- 1) 本走行会への参加申し込みは、WEBエントリーとします。
WEBエントリーができない環境の場合は事務局にご相談ください。
- 2) 申込み期間は大会 1 ヶ月前のお昼 12 時から大会 1 週間前までとします。
詳しくは大会ごとの開催要項にてご確認ください。
- 3) 参加されるドライバーは、WEBエントリーに必要なドライバー登録を行ってください。
ドライバー登録を行うと、エントリーの際に参加申込書を主催者が作成いたしますので、必ず当日に署名あるいは押印してください。
- 4) 募集締め切り後、参加申込者に対して参加受理もしくは拒否が通知されます。（詳細は走行規則を参照）
- 5) 年間エントリーの受付は、第 1 戦の申し込み締め切りまでとします。未入金の場合は正式な申込完了とは認められません。

11 参加料

おもいきり走行会 参加料 (1日)	: 15,000 円 / 台	※W エントリー: 5,000 円 / 1人	※昼食付
おもいきり走行会 参加料 (半日)	: 10,000 円 / 台	※W エントリー: 3,000 円 / 1人	
コンマ 66 初心者講習会 参加料	: 10,000 円 / 台	※午前座学講習・午後走行練習	
コンマ 66 初心者練習会 参加料	: 3,000 円 / 台	※W エントリー/午前座学講習・午後走行練習	
Championship (予選・決勝) 参加料	: 30,000 円 / 台		
- 第3戦 - 8時間耐久	: 62,000 円 / 台		
(年間) 参加料	: 122,000 円 / 台	※ 第1戦のエントリー締め切りまでとします。	
ドライバー参加料 (登録料)	: 2,000 円 / 人	※ エントリードライバーの人数分が必要となります	

1) Championshipに参加するチームは、走行会毎にエントリードライバーの人数分だけドライバー参加料(登録料)が必要となります。

※当日のドライバーキャンセルは、ドライバー参加料の返金できません。

2) 年間エントリーは17チーム限定で募集します。(第1戦募集開始日から先着順で17チームまで)尚、年間エントリーチームで参加できない走行会があっても、チーム参加料は返還されません。

3) 2026年シリーズより同チームエントリールールが撤廃されました。

12 賞典

1) 各走行会の決勝順位の結果に基づき、クラス毎のエントリー台数が9台以上の場合は6位まで、5~8台の場合は第3位まで、4台の場合は第2位まで、1~3台の場合は第1位のみを表彰します。

なお、シリーズ表彰も対象チーム(2026シリーズ同クラス3回以上参加)数に応じ同様とします。

2) シリーズ表彰は、各走行会の決勝順位の結果に基づき与えられた「19 シリーズポイント」にあるポイントの総合計が最も多いチーム順に行います。

同点の場合は下記の方法で順位を決定します。(優先順位は①>②>③)

① 優勝回数の多いチームを上位とします。

② 最終戦での順位が上のチームを上位とします。

③ チームの代表者によるジャンケンの勝者を上位とします。

3) 当日の表彰式は仮表彰式とし、走行会終了後(シリーズ表彰は、最終戦終了後)に行ないます。

また、表彰式に出席しなかったチームは、受賞の権利を放棄したものとみなされます。

なお、放棄されたチームがあっても順位の繰上げは行ないません。

13 参加者の遵守事項

1) 全ての参加者は、主催者が定める誓約書に署名押印をし、開催要項、実施要項、車両規則、走行規則、公式通知、ならびに開催時に定められているサーキットの諸規則を遵守し、誓約の趣旨に従い、明朗かつ公正に行動しスポーツマンシップにのっとりたマナーを保たなければなりません。

2) 全ての参加者は、本走行会開催中に、薬品等によって精神状態をつくろう行為や飲酒は厳禁とします。また、指定された場所以外で喫煙は禁止します。

3) 全ての参加者は、主催者や運営者、協賛者等の名誉を傷つけるような言動をしないでください。

4) 全てのドライバーは、ドライバーズブリーフィングに必ず出席してください。

14 公式車両検査

- 1) 当日車検時に「改造申請書」を記入し車検委員に提出してください。
- 2) 公式車両検査は、各走行会のタイムテーブルに従い、ドライバーズブリーフィングの10分前まで定められた場所で行われ、検査に合格した車両のみ競技に参加することができる。
(当日に予定が変更される可能性もある)
- 3) 公式車両検査を受けない車両、検査の結果参加が不適当と判断され改善命令に応じない車両、またはスポーツ走行に不適格と判断された車両は本走行に参加できません。
- 4) 公式車両検査に合格した後の車両の検査以後の変更、改造は許されません。
なお、規則に不適な部分がありながらも、検査時に発見されなかったとしても承認を意味するものではありません。
- 5) 技術委員長は、公式車両検査時間以外であっても、随時検査を行う権限を持ち、この検査に応じない車両や検査の結果参加が不適当と判断され改善命令に応じない車両に対しては罰則が適用されます。
- 6) 当日朝の車検が不合格になった車両は、上位クラスの車両規則に合致すると車検委員が判断した場合に限り、クラスを変更して競技に参加することができる。(例：TC-NからTC-6あるいはTC-2へ)
- 7) 走行前に行われる「公式車両検査」は、車両規則に基づいた検査が行われますが、主に、安全な走行に関する検査が実施されます。(明らかに違反がある場合は指摘し改善を求めます)
したがって、以下を検査項目とします。

- ・ フロアマットは取外してあるか。
- ・ エアバルブキャップは取り外してあるか。
- ・ 車載工具は取り降ろしてあるか。
- ・ エアバックのヒューズは取り外してあるか。
- ・ 被せタイプの室内ミラーは取り外してあるか。
- ・ 吸盤式の取り付け品はないか。
- ・ アクセサリー等の装飾品は取り外してあるか。
- ・ シートは強固に固定されているか。
- ・ シートベルトは強固に固定されているか。
- ・ バッテリーの+端子は絶縁処理されているか。
- ・ ブローパイは車両規則に則っているか。
- ・ オイル漏れはないか。
- ・ クーラント漏れはないか。
- ・ 牽引フックは前後に強固に装着されているか。
- ・ 灯火類は点灯するか(ヘッドライト / ウィンカー / バックランプ / ブレーキランプ)
- ・ タイヤにスリップサインが出ていないか。(走行時間に対し、残溝不足と判断される場合があります。)
- ・ ホイールバランスはテーピングによる固定がされているか。
- ・ 車両番号(ゼッケン)は規定位置に規定の大きさに貼付されているか。

- 8) 車両規則に関して、他の車両に対する抗議・指摘は一切受けません。
- 9) 車両検査の結果裁定に不服や異議申し立てがある場合、主催者に申請費用30,000円を支払い、異議申し立てを申請することができます。なお、異議申し立てが認められた場合に限り申請費用は返還されますが、異議を検証した結果、認められなかった場合はその検証に掛かった費用の全額を「異議申し立て者」が負担することとなります。
また、異議を他チームに申し立てた場合、異議を認められた場合は異議対象チームが、認められない場合は申し立てたチームが、検証に掛かった費用の全額を負担すること。

10) 車両検査不合格車の取り扱いについては、意図せず、参加クラスの車両規則を満たせていないことが朝の車検時に明らかとなった場合、上位クラスの車両規定に合致していれば、その該当するクラスでの参加を認めます。どのクラスにも合致していない場合は【2026 実施要項 21 賞典外車両の参加規則】に準じた取り扱いとなります。

また、レース終了後に行われるクラス上位入賞車両車検時に、故意ではない車両規定規則違反が明らかとなった場合は、車両規則の「共通認識」に基づいて、最終的に主催者の決定によるペナルティを課します。

15 車両保管（車両検査）

1) 決勝終了後、入賞車両に対し指定場所で車両が保管され、車両検査が行われます。

2) 車両保管された入賞車両は、保管解除まで車両への接触は認められません。

なお、車両保管解除前に車両に触れた場合、車両検査を拒否した場合、罰則が適用されます。

3) 車両検査により、車両規則違反が発覚した場合、罰則が適用されます。

走行前に発見されなかった不具合、及び規則違反が発覚した場合であっても、罰則は適用されます。

16 油脂規定

1) 潤滑に必要なオイルの銘柄や仕様は自由とします。

2) 使用する燃料は一般的にガソリンスタンドで市販されているものとします。

3) 決勝走行中に給油する燃料はチームが用意・管理し、給油前に給油エリアに持ってきてください。

4) ガソリン容器は消防法に合致した携行缶のみを使用し、給油前と給油後に重量を測定すること。

17 トランスポンダーの装着

1) 全てのドライバーは、乗車車両に、受け付け時に貸与された「トランスポンダー（車番認識タイム計測装置）」を取り付けて走行しなければなりません。

なお、事前の申請があれば、持込みによるマイトランスポンダーを使用することもできます。

2) 貸与されたトランスポンダーは、必ず強固に取り付けられた専用ホルダーを後部ナンバープレート付近で地上高 60 cm以内に設け、そのホルダーに移動したり脱落したりすることが無いよう赤い面を下にした状態で縦に確実に取り付けてください。（専用ホルダーはタカスサーキットでも販売しています）
なお、計測不能や計測状況が不安定な場合、取り付け位置の変更を求められる場合があります。

3) トランスポンダーを紛失・損傷した場合、実費負担（8.5万円）となります。

4) トランスポンダーに記載のあるNo.は競技番号とは異なり、取り付け位置、気象条件、その他の事由により正確な計測ができない場合や、計測結果（リザルト）に反映されない場合があることを承知し、主催者の計測結果の最終決定について主催者への意義申し立ては一切受け付けません。

18 車両番号（ゼッケンNo.）

1) 車両番号は通年を通して固定され、希望番号が申請できます。

なお、希望番号の申請は原則先着順とし、主催者が最終的に決定します。

また、車両番号を特に希望しない場合は、主催者において決定されます。

2) 数字は「0」を除く1桁もしくは2桁で、高さ20 cm以上のアラビア数字とします。（リヤは10 cm以上）

3) 車両番号の規格詳細は「車両規則」の通りとします。

4) 車両番号の判別が困難であると判断した場合、主催者より修正が求められる場合があります。

5) ゼッケンは参加チームが用意し、車体の分かりやすい位置に前後左右4箇所貼ってください。

（タカスサーキットに依頼する場合は1枚2,000円になります）

19 シリーズポイント

各レース参加が受理されたチームには、そのレースの成績により下記のシリーズポイントを与えます。

1) エントリー不備マイナスポイント

「10 参加申込」に規定される正規なエントリーが完了されないチームで、当日に正規なエントリー要件を満たしていないと判断された場合は、順位ポイントから 10 ポイント減算されます。

2) 順位ポイント（総合）

各レース決勝の完走順位により、下記の順位ポイントを各チームに与えます。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	・・・	34位
ポイント	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	・・・	1

※2026年シリーズ最終戦までに、2戦以上参加していないチームには、最終戦の順位ポイントが与えられません。

3) 順位ポイント（クラス別）

各レース決勝の完走順位（クラス別）により、下記の順位ポイントを各チームに与えます。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	・・・	34位
ポイント	25	20	17	15	12	10	8	6	4	2	・・・	2

※2026年シリーズ最終戦までに、2戦以上参加していないチームには、最終戦の順位ポイントが与えられません。

4) チェッカーポイント

各レースの決勝でチェッカーを受けたチームに 10 ポイントを与えます。

- ・トラブルでピットストップしていた車両が、チェッカーだけを受けにコースに復帰する場合、先頭車両が最終ラップに入り、チェッカーフラッグを受け終わるまでの間でコースインすることができる。
- ・トラブルの状態により、周回が困難であるとオフィシャルに判断された場合はコースに復帰できません。

5) シリーズ第 4 戦（3 時間耐久）は獲得した順位ポイントが 1.1 倍となります。

6) シリーズ参加チームの概念

- ①シリーズを通して同じ番号をゼッケンとする
- ②同一クラスに参加している
- ③代表者が同じ

以上 3 つの条件を満たしている場合に、同一チームとしてポイントが加算される。

20 Tカー

出走登録車両が公式車検合格後にトラブル等で大会当日に走行が出来ない場合は、「Tカー（代替車両）」による走行が下記の規定を遵守できる場合に認められます。

- 1) 「Tカー」は、必ず公式車検を受けてください。
- 2) ゼッケンは出走登録車両と同番号としますが、ゼッケン横に「Tカー」であることを示す「T」表示をしてください。
- 3) 出走登録クラスの車検に合格していれば、クラスのポイントが与えられます。
- 4) レース途中からの「Tカー」使用時に、クラスの変更があった場合はポイントが与えられません。
- 5) 「Tカー」でチェッカー旗を受けた（完走した）場合表彰の対象となります。ただし、クラスを変更している場合は表彰の対象とはなりません。

2.1 賞典外車両の参加規則

2026年の車両規定にて、どのクラスにも該当しない軽自動車に参加を希望するチームには、車両の安全性が担保できていることを前提とし、下記の条件を満たした場合に参加を認めます。

- 1) 走行前には、必ず公式車検を受けてください。
- 2) ゼッケンは特別参加車両を示す「特〇」を前後左右に貼ってください。(ゼッケンは主催者が用意します)
- 3) 全てのポイントは与えられません。
- 4) チェッカー旗を受けた(完走した)場合でも、表彰の対象とはなりません。
- 5) 距離レースの場合、シリーズ参加チームに及ぼす影響を考慮し、2026年走行規則 7-1にある、各レースでのピット回数ごとに6分間のハンディキャップストップを義務付けします。(時間レースは除く)
- 6) 危険を避ける場合を除き、シリーズ参加者への妨害行為があった場合は走行を禁止します。

2.2 規則の変更

開催要項／車両規則／走行規則は、予告無くその一部を変更する場合があります。

なお、変更した場合には事前に参加者に対し文書もしくは口頭にて通知する。